



◆授業の中で「考える」ことについて —課題解決力の育成を目指して—

校長 千葉 貴樹

本校では、教員個々の受け持ちの授業がないときに、時間を工夫して、各教室の授業を見に行き、見た後にはその授業の進め方について、参観教員と授業者が話し合ったりして授業力を高められるよう努めています。

私も副校長と共に、幸小の全ての教員の授業を参観し、よりよい授業改善について協議し指導しています。

ところで、子どもたちが授業を受けていて、きっと感じていることがあると思います。それはどの教員も授業の中で、一回以上は必ず「考えましょう」という言葉を使うことです。

幸小の教員は今から話す4つの場面で、「考えましょう」という言葉を使います。

まず一つは、授業の始めに、前の学習を振り返って、今日の学習でどんなことを調べたいか、どんなことに取り組みたいかを考えてほしい時に「考えましょう」を使います。

2つに、「今日のめあて」が決まって、そのめあてについて、自分の考えをもってほしい時に「考えましょう」を使います。その時に「考えた理由は何ですか」ということを併せて聞くこともあります。

3つに、2つのことを比べて、気がついたことを見つけてほしい時に、「考えましょう」と使います。又は、2つ以上のことを比べ関係させて、ひらめいたことを聞かせてほしい時にも、「考えましょう」を使います。

4つに、授業の終わりの方で、今日の学習を振り返って、前の学習や他の学習と比べたり関係させたりして、「こういうことが言えそうぞ」とか「こんな決まりがありそうぞ」と、何か大切なことに気がついてほしい時に「考えましょう」を使います。または、「今日の学習」から「こんなことが疑問だな」とか「次にこんなことを調べてみたいな」と次にやってみたいことを見つけてほしい時に、「考えましょう」を使います。

「そんなにたくさん『考えましょう』と言われても困っちゃうよ」という声が子どもたちから聞こえてきそうですが、大丈夫です。「考える」ときに、手がかりになることがいくつかあります。

それは、それぞれの授業の中で、「考えましょう」と言われた時や、「どうしてそう考えたのですか。理由は何ですか」と聞かれた時には、自分が知っていることや経験したことがあること、前の時間に学習したこと、資料やグラフ、ノート・・・特に教員が「これは大事ぞ」と、繰り返し言ったことを思い出すことです。

それらの知っていることや習ったことなどから考える、それらのことと新しく学習することを比べたり、同じところや違うところを見つけたりすると、考えを出すヒントが見つかります。

各家庭においても、何か新しいことをする時など、子どもたちに考える場面を意図的に設け、併せて考えるための材料も併せて示していただくと助かります。ぜひ試してみてください。よろしく願いいたします。

●緊急事態宣言が再延長して

6月20日まで緊急事態宣言が延長しましたが、今まで以上に感染防止対策を徹底して教育活動の充実に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、子どもたちの安心・安全を第一に考え、4月当初にご案内した学校行事等の変更についてお知らせします。ご理解ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

- ・6月 5日(土) 学校公開、引き渡し訓練 →中止 次回: 7月 3日(土)
- ・6月 9日(水) はっぴいスマイルくらぶ →中止 次回: 6月23日(水)
- ・6月14日(月) ~ 16日(水) 日光移動教室 →延期 延期日: 10月30日(土) ~ 11月1日(月)

6月の行事予定

1日(火) 安全指導、内科(5)、都体力テスト(始)	16日(水) さいわい塾
2日(水) 4時間授業	18日(金) 都体力テスト(終)
4日(金) ソフトボール投げ(全)、読書旬間(始)	21日(月) クラブ活動、下水道キャラバン(4)
教育時実習(終)	23日(水) さいわい塾、はっぴスマ、大縄週間(始)
5日(土) 土曜授業日	25日(金) 校外学習(6)、読書旬間(終)
7日(月) クラブ活動	28日(月) 6時間授業(5, 6)
9日(水) 4時間授業	30日(水) 保護者会(4, 5, 6)
11日(金) ソフトボール投げ(予備)	5校時授業参観は中止とします。
14日(月) 水泳指導(始)	※ () の中の数字は学年を表します。



6月の生活目標「感じのよい言葉づかいをしよう」

6月の保健目標「すりきずは水であらおう」

☆ 読書旬間（6月4日～25日）

学校図書担当 高橋 菜子

例年、図書委員会による読み聞かせや本の紹介、教員による読書バイキング等の活動を行っていますが、今年度も図書委員会や教員からのお薦めの本の紹介など、できる範囲で子どもたちの読書活動が楽しいものとなるような活動を工夫して行っています。本の紹介などの活動を通して、いつも以上にたくさんの児童に本の楽しさを味わったり、新しい発見や新しい本との出会いをしたりしてほしいなと思います。さて、図書についてお願いがあります。

- ・学校で借りた本の修理が必要な場合は、家庭でテープ等を使って貼らないでください。図書専用のテープで修理をしますので、そのまま図書室に持って来るようにさせてください。
- ・御家庭で不要になった本で、学級文庫に活用できそうな本がありましたら、寄付をお願いします。古くない本、子供たちに人気のある本がありましたら、担任まで届けてください。いつでも受け付けています。
- ・先日、今年度の図書ボランティアの募集についてのお知らせをお配りしました。年数回の参加や小さいお子さん連れでも大歓迎です。ご協力よろしくお願ひいたします。

☆ ホームページ

HP担当 北川 久美

幸小学校のホームページ、御覧いただいておりますでしょうか。日頃より、学校の様子やお知らせを「学校生活」でお伝えし、「おたより」で学校便りを御覧いただけるようにしております。こここのところのコロナウイルスの蔓延に伴う休校中は、頻繁に「変更」や「お知らせ」があり、学校からのメールと共に御覧いただいたことと思います。

また、意外と知られていませんが、「幸小の教育」のページの中で、幸小の校歌が聞けたり、学習に関するちょっとした「スライド動画」がアップされていたりします。お時間があるときや興味が湧いた際には、ぜひ御覧下さい。iosでは再生する事が出来ません。御覧になりたい場合はwindowsかアンドロイドのスマートフォンから御覧下さい。

☆ さいわい塾開始

学力向上推進委員会 中村 好夏

昨年度に引き続き、6月16日(水)からさいわい塾が始まります。さいわい塾は放課後の時間を活用し、算数科の基礎的・基本的な学力の定着を目指し、既習事項を繰り返し練習して習熟に取り組む学習活動です。本時間は地域の方が講師となり、少人数の子供たちを指導します。昨年度は、3月の最終回の際にさいわい塾での努力を称えて表彰状を渡しました。今年度も、子供たちの頑張りをさいわい塾で後押しいたします。

☆ 幸小キラリ ～「キラリ」ってこんなところ～

幸小キラリ主任 木下 由香子

特別支援教室「キラリ」は、立川市全校に設置されて4年めとなりました。

キラリとは 一人一人の得意なところを伸ばし、教室で困っているところ、苦手なところを自分に合った学び方で分かる(できる)ようにしていく学びの場所です。個別のニーズに合わせて教育支援を行い、在籍学級でうまく適応できるように指導しています。

指導体制 ☆ 幸小学校が拠点校で、柏小学校、若葉台小学校へも、担当教員が巡回指導をしています。

☆ キラリ担任7名、専門員3名(各校1名)の10人体制です。

☆ キラリ教室(北校舎2階)にて、週2時間を基本として指導しています。

キラリでの指導内容

	活動の様子(例)
1 校 時 3 ・ 5	はじめの会
	自立活動①(個別)
	自立活動②(個別)
	トイレ・水飲み休憩
2 校 時 4 ・ 6	スピーチ等
	自立活動③(グループ)
	おわりの会

<個別学習>

自立活動①②では、個別学習をします。児童の目標に合った学習やソーシャルスキルトレーニングなどを行います。

<スピーチ活動>

話し手は、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」「(気持ち)」を入れて話します。聞き手は、相手の話をよく聞いて、質問をすることで、理解を深めています。

<グループ活動>

自立活動③では、コミュニケーションをねらったゲームや運動を目的とした活動等を、少人数グループで行います。

現在、幸小学校でキラリを活用する児童は複数いますが、どの学級でも「いってらっしゃい。」と気持ちよく送り出してもらっています。保護者、学級担任、児童らの温かい理解の中で、実施できることに感謝しています。これからも互いに認め合い、高め合っていけることを願っています。